

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	八王子市都市 政策研究所	その他	検討会委員、 講師派遣等に 協力	新たな時代に対応する先駆的政策や 施策を学識者・市民・職員が共同で調 査研究し、①実効性ある政策の開発、 ②政策の発信を行う。研究テーマは 「公共施設マネジメント」。	約1年	学識経験者としての専門的知識、 豊富な経験・実績、指導力などによ り、事業目的が達成される。	学識経験者に関する 情報が不足しており、 人選が困難である。	東京経済大学現代法学部 東海大学政治経済学部	
2	総合経営部 広聴課	八王子市市民 参加推進審議 会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市民の市政への参加を推進するととも に市民参加条例の適切な運用を図る ための議論を行う。	2年	学識経験者としての専門的知識、 豊富な経験・実績、指導力などによ り、事業目的が達成される。	特になし	・杏林大学 総合政策学部 ・首都大学東京 都市教養学部 都 市政策コース	
3	総合経営部 広聴課	施設見学会	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	公募市民対象の市内施設の見学会。 市民の市政への理解を深めるとともに 身近な市民参加の機会とする。	2014.10/9 ～11/21	市民が大学等(教授・学生・施設)と 接する貴重な機会となり、市民への 大学等への理解が深まる。	特になし	・東京工科大学 ・東京薬科大学 ・東京造形大学 ・創価大学	
4	総合経営部 広聴課 都市計画部 交通企画課(共催)	市民フォーラ ム・未来を語 る	その他	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市長を含むパネリストのパネルディス カッションを通じ、まちづくりや市政に 対する関心を深めるとともに、行政と の協働意識の高揚を図る。26年度は 「多摩都市モノレール八王子ルート の整備促進に向けて」市民の機運を高 めていくために開催。	2015.2/1	大学教授に基調講演及びコーディネ ーター、大学院助教にパネリスト をお願いすることで、より専門的な 見解を参加者へ伝えることができる。	特になし	・明星大学 理工学部総合理工学科 (環境・生態学系) ・首都大学東京 大学院 都市環境 科学研究科 建築学域	
5	市史編さん室	市史編さん室 職員の大学図 書館利用	芸術・文化	市の事業に大 学等が協力	市史編さん室職員による法政大学多 摩図書館の利用。	平成21～ 28年度(予 定)	豊富な所蔵資料の閲覧・貸出が許 可されたことにより、市史編さんに 必要であるが、貴重かつ高価で入 手困難な専門図書を利用すること が可能になった。	特になし	法政大学	多摩図書館
6	市史編さん室	八王子市市史 編さん審議会	芸術・文化	市の事業に大 学等が協力	市史編さん事業の適正な推進を図る ため、市史編さんの基本構想の策定 に関する事項、編集方針に関する事 項、その他市史編さん事業の推進に 関する事項について調査審議し答申 する。	平成20～ 28年度(予 定)	学識経験者としての専門的知識や 豊富な経験を、市史編さん事業の 推進に生かすことができる。	特になし	中央大学 成蹊大学 東海大学	
7	市史編さん室	八王子市市史 編集委員会	芸術・文化	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市史の編さんについて専門的知識を 有する大学教員などの学識経験者等 により組織し、市史の内容や構成な ど、市史編集に関わる専門的事項に ついて協議する。	平成21～ 28年度(予 定)	委員の持つ専門的な知識や経験を 生かし、市史の編集を進めること ができる。	特になし	中央大学 専修大学 成蹊大学 東海大学 国学院大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
8	市史編さん室	八王子市市史編集専門部会	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編集専門部会へ、大学教員ならびに大学院生等が参加し、各専門分野ごとに具体的な調査研究を実施。	平成21～28年度(予定)	市史編さんの各分野について専門的知識を有する者を委員に迎えることにより、高度かつ効率的な調査研究を行うことができる。	特になし	中央大学 創価大学 首都大学東京 ほか	
9	行財政改革部 行革推進課	八王子市行財政改革推進審議会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行財政改革の基本方針及び行財政改革の推進に関する重要事項についての調査審議を行う。	任期2年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行財政改革に活かすことができる	特になし	平成26年度は開催していないため、連携実績なし	
10	行財政改革部 行政管理課	八王子市外部評価懇談会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行政評価の客観性をより一層高め、市民の視点及び学識経験者の専門的な視点での評価を取り入れた外部評価を実施	1年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行政評価に活かすことができる	特になし	平成26年度は開催していないため、連携実績なし	
11	市民活動推進部 協働推進課	市民企画事業補助金	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市民活動団体が企画・実施する公益的な事業に対し、事業費の一部を補助する制度。庁内での確認・評価の上、外部委員による審査を行い、対象事業を決定する。	1年任期	学識経験者が審査に加わることにより、提案事業に対して客観的で深い見識による実現性についての審査が行える。 また、制度に対する広い視野からの公共サービスの在り方について提言がもらえる。	特になし	首都大学東京(～平成26年6月30日) 拓殖大学(平成26年12月1日～平成27年3月31日)	都市教養学部都市政策コース教授 国際学部教授
12	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつり案内及びグッズ販売 主催:八王子まつり実行委員会	まちづくり	その他	八王子まつり開催にあたり駅等に設置の案内所におけるパンフレット等配布による観客への案内及び販売ブースでのグッズ販売員としての人的協力警備・清掃	八王子まつり開催の3日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図れる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	夏休み中の人員確保。 学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
13	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	地域ふれあい講座	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	各地域住民協議会が、地域住民の要望に即した各種公開講座を実施する。	—	地域住民が要望する内容について、専門的な講座とすることが期待できる。			
14	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	フラワーフェスティバル由木	まちづくり	その他	フラワーフェスティバル由木開催にあたり案内所及びプレイランドでの手伝いとしての人的協力	まつり開催の2日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図れる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	新年度早々行事のため人員確保。 学校行事と重なると協力が見込めない。	東京工科大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
15	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	第35回記念八王子いちよう祭り 主催:いちよう祭り祭典委員会	まちづくり	その他	八王子いちよう祭り開催にあたり案内所でパンフレット等配布による観客への案内及びグッズ販売員あるいはイベント警備や会場清掃としての人的協力	まつり開催から開催後までの3日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	人員確保。 学校行事(学園祭)と重なる協力が見込めない。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 法政大学 中央大学	
16	市民活動推進部 学園都市文化課	学生と市長とのふれあいトーク	まちづくり	市の事業に大学等が協力	まちづくりに関する幅広い分野で研究・活動を行っている学生達に日頃の活動の成果やまちづくりに対する提案を発表してもらい、市長と意見交換を行う。	平成18年～	本市のまちづくりについて市長との意見交換を交えた中で学生から貴重な意見、提案がなされ今後のまちづくりの参考とすることができた。また、来場者(学生・市民)に学生の活動やアイデアなどを知ってもらい良い機会となった。	多くの大学からの提案がもらえない。	拓殖大学、山野美容芸術短期大学、創価大学、杏林大学、創価女子短期大学、首都大学東京	拓殖大学 佐原隆幸研究室、創価女子短期大学 亀田ゼミナール、杏林大学 久野新ゼミナール、創価大学 安田賢憲ゼミナール、山野美容芸術短期大学 大西研究室、首都大学東京 笠松研究室、創価大学 西浦昭雄研究室
17	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子学園都市大学評議会	生涯学習	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子学園都市大学の重要事項を審議する評議会委員への就任を参加大学へ依頼。	任期2年	八王子学園都市大学の運営方針などについて実際に講座を提供している大学側の意見を反映させることにより、より充実した内容にすることができる。	なし。	創価大学 東京工科大学 ヤマザキ学園大学	
18	市民活動推進部 学園都市文化課	大学と連携した情報収集のしくみづくり	まちづくり	市の事業に大学等が協力	大学の研究室が独自に収集・作成している八王子に関するデータを共同で有効活用できるしくみの構築。	長期継続	大学の収集・研究したデータを活用し、市の特性を把握することで、事業や計画実施に役立てる。	なし。	大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
19	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子市文化振興推進委員会	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市文化振興計画の進捗状況を確認し、評価や見直しにより計画を着実に推進していくため、必要な提言などを行う。	任期2年	専門分野について、より充実した内容にすることができる。	なし	東京造形大学 日本大学	
20	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	伝統文化ふれあい事業	生涯学習	市の事業に大学等が協力	街なかで市民が伝統文化にふれる機会を創出し地域資源の新たな発見と積極的な活用をはかるもの	平成18年度から継続	学生の感性を取り入れた事業が行える。 学生にも伝統文化にふれる機会を提供できる。 市民と学生との交流ができる。	時期により学生の協力を得られない	杏林大学	杏林大学 古本ゼミ

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
21	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 経営管理課	評議員会 諮問委員会	その他	その他	財団の評議員・諮問委員に大学関係者を選任している。	常時	学生の事業への参加・関心の促進 直接、財団事業について意見交換ができる。	特に無し	工学院大学 東京工科大学	
22	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子地域23 大学等留学生 日本語弁論大会	教育	その他	地域23大学等の留学生が事前に出題されたテーマに対し、日本語で自分の考えを発表する。	毎年 11～12 月頃	発表者は市より国際交流推進特使(国際フレンド)に任命され、母国と市の交流推進に寄与してもらう。留学生の考えを知る事ができる。日本語能力の向上の場の提供。		地域23大学等	
23	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生天国	まちづくり	その他	八王子学生委員会及び地域23大学等の学生有志による「八王子地域合同学園祭」。	毎年 5月第2日 曜日	市が協力することにより市民への周知など対外的なPRの面で効果がある。	行政の役割の確認。	八王子学生委員会 大学コンソーシアム八王子加盟23 大学等の学生有志	
24	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生発表会	教育	その他	大学コンソーシアム八王子を構成する大学等の学生に、研究成果を発表する場を提供し、大学間の交流を図るとともに、企業・大学関係者及び市民から講評等を受ける機会を提供することにより、産学連携及び地域活性化に資することを目的とした「学生発表会」を開催。また、学生のアイデアを市長に直接提案する「学生と市長とのふれあいトーク」と融合し実施。	毎年 12月の 土・日	他大学の学生との交流や学生、教員、企業関係者等から評価を得られる。学生の研究成果・アイデアを企業や市政に提言することによる地域の活性化。	企業の参加が伸び悩んでいる。	大学コンソーシアム八王子加盟23 大学等	
25	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生企画支援 補助事業	教育	その他	地域23大学等の学生や学生と市民の交流を目的としたイベント企画を支援補助する事業	通年	学生の企画運営の相談を行い、学生相互及び学生と市民の交流ができる。		大学コンソーシアム八王子加盟23 大学等	
26	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	公開講座の共 催	施設利用	その他	学園都市センターを会場に開催される各大学の公開講座のポスター・チラシによるPR等の実施	通年	大学等との協力による講座の提供により、市民に対し生涯教育の一助となる機会を提供することができた。		大学コンソーシアム八王子加盟23 大学等	
27	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子市学園 都市推進会議	まちづくり	その他	シティインデックスの発行とホームページの更新 学生フェスティバルの開催 いちよう祭りへの参加 留学生日本語弁論大会の実施 大学生と市民・少年野球チームの小学生との交流会の実施	通年	新入生のための生活便利帳「シティインデックス八王子」を地域23大学等へ配布 音楽祭・書道展・写真展・美術展など学生フェスティバルへ多数の大学から参加 留学生日本語弁論大会を共催		大学コンソーシアム八王子加盟23 大学等	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
28	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子学生会委員会	まちづくり	その他	学生天国の実施やいちょう祭りへの参加など学校間の壁を越え、学生がいそいそと地域で活動できる街をめざす	通年	各大学へ学生会委員会の委員や学生天国等イベントへの参加・協力者を募った。		大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
29	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 学園都市振興課	八王子学園都市大学	生涯学習	市の事業に大学等が協力	周辺部を含めた地域23大学等と連携し、高度で専門的な学習機会を継続的に提供することにより、市民の生きがいづくりや地域の活性化に寄与するもの。	通年	高度な教育を通じて人材育成が図られ、地域の活性化につながる。また、市民が大学をより身近に感じられる「学園都市づくり」が促進される。		大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
30	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 学園都市振興課	八王子地域23大学情報コーナー	その他	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する地域23大学等の学校案内、入学案内などを市民に提供。	通年	地域にある大学を市民に広く周知することができる。		大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
31	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 学園都市振興課	学生交流サロン貸出事業	その他	その他	大学の学生や教員、また学園都市大学の受講生が無料で打合せ等に利用できるスペースを開放した。	通年	学生が打合せ等ができる空間を確保し、学生が集まり易い環境とした。	一般の利用者との違いがわかりにくい	大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
32	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	大学コンソーシアム八王子情報	まちづくり	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する地域23大学等の魅力を広くPRし、大学・学生・市民等との連携、交流の促進を目的に作成。	通年	大学コンソーシアム八王子の設立及び地域23大学等の魅力や存在をあらためて周知することで、「学園都市八王子」のイメージアップが図られた。また、各大学学園祭や大学で活躍する方々を紹介することで大学・学生と市民等との交流の促進に貢献した。		大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
33	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	夏休み子どもいちょう塾	教育	その他	幅広い分野の学部が所在する特色を活かして、八王子地域の小学生4～6年生を対象に、夏休みの特別講座を開講する。文系理系を問わず幅広い科目を提供する。	毎年7月の最終日曜日	地域の小学生とその保護者が、大学の教員という別の視点で授業を受けることで、大学に興味を持ってもらうと同時に、様々な科目に興味を持ってもらう。	予算の確保	工学院大学 明星大学 東京工業高等専門学校 東京純心女子大学 多摩美術大学 創価大学 東京薬科大学 拓殖大学 日本文化大学 東京工科大学 東京家政学院大学 サレジオ工業高等専門学校	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
34	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	FD・SDフォーラム	教育	その他	社会で活躍できる学生を育てるという目的の下にさまざまな視点から基調講演や分科会を企画し、23大学等および全国からの教職員が互いに学び情報共有する場を提供する。	毎年 8月の最終 金・土	連携大学等の教職員が共通して直面する問題、課題などについて情報交換ができるとともに、全国から参加する教育機関関係者との交流を通して教職員の意識改革や資質向上に繋がる取組みとなる。		工学院大学 明星大学 東京工業高等専門学校 東京純心女子大学 杏林大学 創価大学 東京薬科大学 拓殖大学 法政大学 東京工科大学 首都大学東京 山野美容芸術短期大学 ヤマザキ学園大学 東京家政学院大学	
35	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	学芸員実習の受入	教育	その他	学芸員資格を取得するために必要となる博物館実習を夢美術館で希望する学生を受け入れる。	5日間	①学生に実習の場を提供でき、また大学との協力体制が取り易くなる。 ②将来他の美術館との連携の可能性が広がる。	受入人員が限られるため、市内在学、在住を優先	東京造形大学、実践女子大学、東京学芸大学、共立女子大学、明星大学、金沢美術工芸大学	
36	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	博物館見学実習	教育	その他	大学が開講する博物館見学実習の場を提供し職員が対応した。	1日	学生の美術館への理解を深めることができる。出席者は、大学の正規の単位となる。	特になし	首都大学東京	システムデザイン学科
37	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化会館	インターンシップ	芸術・文化	市が大学等にボランティアを依頼	学生に実務の体験と学習の場を提供し、その経験を文化活動に活かし、舞台技術を通じて、「活動する人」として、文化の担い手(文化人)となる環境づくりに資する。	1年	その経験を文化活動に活かし、学園都市振興や文化人の育成に資する。 更に、学校の特性を活かすため、舞台業務の専門性の理解等レベルアップが図れる。	特になし	本年度実施せず。 27年度は、東京工科大学及び日本工学院八王子専門学校の学生を学校の夏休み期間中インターンシップとして受け入れることで調整	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 コンサート・イベント科
38	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	八王子シアタープロジェクト公演	芸術・文化	その他	ふれあい財団が企画した演劇ワークショップを母体として2008年に旗揚げした市民劇団による公演。財団が継続してサポートを行い、今回が第7回目の公演である。	1年	演劇ワークショップの時期に指導を担っていただいた教員から専門的なサポート・アドバイスを受けることにより、明確なレベルアップがみられている。	特になし	多摩美術大学	造形表現学部 映像演劇学科
39	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	東京造形大学フラッグキャリアプロジェクト	芸術・文化	その他	東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域の授業の一環としてとられた学生のデザインによるフラッグを作成し、西放射線商店街の協力を得て西放射線ユーロードのポールに掲出、広く市民に公開する。	7月19・20日、9月26日～11月6日	多くの学生が参加し、街の賑わいを創出できた。また、継続することで商店街とのコミュニケーションが図れている。	特になし	東京造形大学	
40	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	八王子音楽祭	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	音楽祭における案内等スタッフとして参加し、運営に携わる。	約1か月	音楽祭の期間、各事業単位で参加を募った。学生にはスタッフとしてイベント参加することで実地体験と地域住民等とのふれあいが生まれる。 財団としては人的協力を得、イベントをより充実することができた。	参加を自由意思によるため、思うような人数が確保できなっていない。 また、募集時期が音楽祭開催にぎりぎりであったため、研修が思うように実施できない。	東京工科大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
41	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 南大沢文化会館	ロビーコンサート運営ボランティア	教育	市が大学等にボランティアを依頼	7月のロビーコンサートの準備・片付け・チラシ配り・音響準備(機材の設置)やお客様の誘導などについて学生を活用する。	H26.4月～ 3月	ボランティアを通じて、社会を知る機会を提供する。大学生に南大沢文化会館を知ってもらい、これからの利用にも結びつける。	特になし	東京工科大学	メディア学部
42	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 南大沢文化会館	会館内の分かり易い経路誘導の改善	その他	市の事業に大学等が協力	会館内の分かり易い経路誘導を改善するため、大学の専門家に依頼する。	2年	26年度は現在のフロアマップをリデザインし、それを取り入れたパンフレットを作成することで、利用者のスムーズな移動を目指す。	特になし	首都大学東京	産学公連携センター
43	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 南大沢文化会館	南大沢文化会館ダンスワークショップ	教育	市が大学等にボランティアを依頼	26年度に実施する学生の指導により、小中学生が正しいダンスの技術や、体の動かし方を習得するワークショップのプログラムを共同で作成した。	1年	学生が指導することにより、大学が地域にとってより身近なものとして認識されるとともに、南大沢地域のダンス層の拡充を図り、将来の文化人を育成する。	特になし	東京工科大学	
44	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	南大沢コミュニティオペラ	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	プロ・セミプロ・アマ・学生・ふれあい財団が力を合わせて創造する手作りのオペラ。「創る」「演じる」「観る」喜びを多くの方と分かち合い、地域に根付いた活動となることを目指す。	1年	本格的な市民オペラを創り上げるために、単なる制作経費の削減ではなく、地域と一体化した手作りの活動になること、また、学生の学習成果を発揮する場としても活用されている。	特になし	①東京家政学院大学 ②山野美容芸術短期大学 ③東京工科大学	①生活デザイン学科 ②専攻科芸術専攻 ③メディア学部 ntebro
45	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 夢美術館	多摩美術大学サウンドアート展	芸術・文化	その他	南大沢文化会館展示・多目的室、交流ホールで在学生、卒業生の作品展示、パフォーマンスを開催。記録誌を発行。	10月16日～19日	1. 市内大学の学生に発表の機会を与え、文化人を育てる。 2. 卒業し、八王子から離れた人材を八王子に呼び寄せる。 3. 市内大学と市民の交流を図れる。	作品の保護と事故の防止	多摩美術大学	情報デザイン学科 メディア芸術コース
46	市民活動推進部 多文化共生推進課	国際交流フェスティバル	多文化共生	市の事業に大学等が協力	毎年秋に開催する国際交流フェスティバルの周知用ポスターの原案を大学の授業で作成してもらい、数点をフェスティバル開催時に会場に展示する。	5月～6月 展示は10月または11月	学生の感性を取り入れることで、国際交流フェスティバルへの若い世代への参加の促進につながる。		サレジオ高専	
47	市民活動推進部 多文化共生推進課	高雄ランタンフェスティバルへのパフォーマンス団派遣	多文化共生	市の事業に大学等が協力	本市の海外友好交流都市である台湾・高雄市で開催される「高雄ランタンフェスティバル」に地域23大学等を代表し、帝京大学チアリーディング部に出演いただくもの。	1年	1. 台湾・高雄市の多くの市民の方に、日本の文化を知っていただくことができる。 2. 高雄市との友好関係が深まると共に、市民交流の促進につながる。	特になし	帝京大学	チアリーディング部

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
48	市民活動推進部 多文化共生推進課	地域のイベントへの参加	多文化共生	その他	地元町会・自治会等で開催されるまつりや防災訓練に、八王子国際協会と連携し外国人留学生が参加。	1年	1. 留学生が日本の文化を体験する機会につながる。 2. 地元町会・自治会の方々が、留学生と交流を通じて、異文化を理解する機会が得られる	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	留学生
49	市民活動推進部 多文化共生推進課	多文化共生推進委員会	多文化共生	検討会委員、講師派遣等に協力	2013年3月に策定された「多文化共生推進プラン」の進捗状況や本市の多文化共生推進施策に意見等をいただくに当たり、本プランの策定に当たり、ご尽力をいただいていた中央大学の森茂教授に、本委員会の座長を務めていただき、取りまとめをお願いしていた。	10年	多文化共生に関する専門的な知識を持っており、また、本プラン策定に至るまでの経緯も把握されているため、的確に委員会を取りまとめいただいている。	特になし	中央大学	文学部 森茂教授
50	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画施策推進委員会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市における男女共同参画に関する総合的な施策の推進に当たり、外部の視点からの意見又は助言を求める。	2年	男女共同参画施策の推進及び男女共同参画センター運営について学識者の意見として参考とする。	特になし	首都大学東京	
51	市民活動推進部 男女共同参画課	デートDV等防止講座	その他	大学等の研究事業に市が協力	大学からの協力依頼により市職員等が大学へ出向き、デートDV等について講義を行う。	必要に応じて	これからの社会を担う学生たちに対し、男女共同参画の理解やDV・デートDVなどの認識を深めてもらい、女性に対する暴力を許さない地域社会の実現を図る。	特になし	中央大学	
52	市民活動推進部 男女共同参画課	デートDV防止のためのチラシの配置	その他	その他	大学コンソーシアム八王子を通じて、市内の大学に、デートDV防止のためのチラシの配置を依頼。	必要に応じて	学生に向けて、デートDV防止の啓発や公の相談窓口についての情報を届けることは容易ではないが、大学に配置することで、情報提供が進んだ。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
53	市民活動推進部 男女共同参画課	女と男のいきいきフォーラム八王子の運営	その他	市が大学等にボランティアを依頼	男女共同参画センター主催「女と男のいきいきフォーラム八王子」の運営に係る学生ボランティア	必要に応じて	学生の社会参加及び男女共同参画の事業に触れることによる、意識啓発を図る。	特になし	東京工科大学	
54	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画週間記念イベント	その他	市が大学等にボランティアを依頼	男女共同参画週間(毎年6月23日から29日)を記念し、市民の皆さんに男女共同参画について知っていただくため、講演会を開催。	必要に応じて	学生の社会参加及び男女共同参画の事業に触れることによる、意識啓発を図る。	特になし	東京工科大学	
55	総務部 総務課	平和推進事業	その他	市の事業に大学等が協力	次代を担う若い世代に、「戦争」「八王子空襲」の記憶継承をし、平和の大切さを感じ取ってもらうため、公募市民等からなる平和展実行委員会に参画してもらい、平和展の企画や事前準備及び撤去、開催期間中の会場運営を依頼した。	H24 3～9月	平和展の企画・運営に関して、学生の視点ならではのアイデアを多く採用できたほか、心のもった運営により来場者にも好評を得ることができた。	特になし	帝京大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
56	総務部 総務課	情報公開・個人情報保護審査会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	公文書の公開請求及び個人情報の開示請求に係る実施機関の決定に対する不服申立てについて、実施機関からの諮問に応じ、第三者の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有しているため、審議において大変有用である。	学識経験者に関する情報が不足しており、委員の選任が困難である。	創価大学 法政大学 首都大学東京	
57	総務部 総務課	情報公開・個人情報保護運営審議会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	情報公開・個人情報保護制度の運営に関する重要事項等について、市長の諮問に応じ、第三者の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有しているため、審議において大変有用である。	学識経験者に関する情報が不足しており、委員の選任が困難である。	東京大学 中央大学	
58	総務部総務課	政治倫理審査会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	政治倫理に関する事項についての調査請求に対して、市長からの付託に応じ、第三者の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有しているため、審議において大変有用である。	学識経験者に関する情報が不足しており、委員の選任が困難である。	首都大学東京	
59	総務部 職員課	インターンシップ	その他	その他	大学のカリキュラムの一環であるインターンシップの受入れ。	各大学との協定により決定	学生に公務員の仕事や本市の施策等を理解してもらう機会になるとともに、市側が学生の意見・提案に直接触れる機会となっている。	事業を実施する上で、今の20名程度の受入れが上限である。今後も大学からの受入要望が増加するようだと実施方法の検討が必要	中央大学、法政大学、創価大学、首都大学東京、帝京大学、杏林大学、明星大学、拓殖大学、日本文化大学、工学院大学	
60	税務部 住民税課	軽自動車税の賦課(課税客体の適正な把握)	その他	市の事業に大学等が協力	原動機付自転車の廃車手続きPRポスター掲示の依頼並びに大学のホームページへの原動機付自転車の廃車PR文掲載及び市ホームページの原動機付自転車に関する手続きのページへのリンク設定の依頼	12月上旬	大学生が所有する原動機付自転車について、廃棄、譲渡、市外転出、盗難・紛失したときの廃車手続きの徹底。	特になし	大学コンソーシアム八王子加盟23大学等	
61	生活安全部 防犯課	八王子市生活安全対策協議会	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市生活の安全・安心に関する条例に基づき、防犯対策などを検討する	H15年3月～現在(任期は2年)	学生・地域住民・警察・市が様々な立場からの意見交換を行うことで、より安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができる。	特になし	八王子学生委員会	
62	生活安全部 防災課	災害時における広域避難場所及び一時避難場所	防災	市の事業に大学等が協力	災害時に市民の生命を守るため、広域避難場所及び一時避難場所として指定し、施設を使用する	避難場所としての必要がなくなるまで	地震火災やその他の大規模火災発生時の、火災による輻射熱から避難者の生命を保護するための、オープンスペース、一時避難場所として市民の安全確保ができる	特になし	首都大学東京、中央大学、東京薬科大学、東京工科大学、工学院大学、創価大学、拓殖大学、明星大学	
63	生活安全部 防災課	災害時ボランティア活動に関する相互協力	防災	市が大学等にボランティアを依頼	大学、消防署、市が連携し、災害時に大学生のボランティアを活用して災害対策活動を行うもの。大学は、学生に向けてボランティアニーズの広報等を行う。	H18年度～	市内の大学に在学する学生の力を災害時に活用することにより、災害時ボランティア要員の確保が図れる。	特になし	創価大学、杏林大学、拓殖大学 帝京大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
64	生活安全部 防災課	八王子市総合 防災訓練	防災	市の事業に大 学等が協力	災害に備えて消防署・警察署・消防 団・自衛隊などの関係機関と合同で行 う総合防災訓練。	1日	医師会等の関係機関と連携した実 践的な訓練を行うことで、災害時に おける看護活動等をより円滑に行 うことができる。	特になし	看護専門学校	
65	福祉部 福祉政策課	八王子市地域 福祉推進協議 会	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	平成25～29年度を計画期間とする『第 2期地域福祉計画』の円滑かつ効果 的な実施を推進するため、特に重点 課題について進行管理を行うととも に、本市における保健医療、福祉の総 合的な発展のため、協議、意見交換を 行う。	任期 平成25年8 月1日～平 成26年3月 31日まで	大学教授など学識経験者が委員に 加わることで、学問的に裏付けられ た知識を取り入れることができ、会 議の円滑な進行ができる。	特になし	法政大学 首都大学東京	
66	福祉部 高齢者いきいき課	八王子市高齢 者在宅サービ スセンター指 定管理者候補 者選定のため の評価会議	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市高齢者在宅サービスセン ターの管理運営を行う指定管理者の 選定を、公正かつ適正に実施するた め、八王子市高齢者在宅サービスセ ンター指定管理者候補者選定のため の評価会議を開催する。	任期 平成26年7 月18日～ 平成26年 12月28日	大学教授など学識経験者が委員に 加わることで、学問的に裏付けられ た知識を取り入れることができ、会 議の円滑な進行に貢献している。	特になし	首都大学東京	
67	福祉部 高齢者福祉課	八王子市介護 サービス相談 調整委員	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市介護サービス相談支援会議 を構成し、サービス利用者からの不 満等について調査及び審議をし、各 種サービスを提供する事業者に対し て指導、助言、助言等を行う。	任期 平成25年 11月1日～ 平成27年 10月31日	事業を実施する上で、専門的分野 の知識が不可欠であり、支援会議 の円滑な運営に必要。	特になし	法政大学	
68	福祉部 高齢者福祉課	家族介護者交 流会	医療・福 祉・健康	市が大学等に ボランティアを 依頼	左記の教室でスタッフとして参加	1日	福祉系学部の学生が参加すること で、地域課題の発見につながる。	特になし	創価大学	
69	福祉部 介護保険課	八王子市介護 保険運営協議 会委員	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	介護保険事業の円滑な運営を図る。	任期 平成26年9 月6日～平 成27年3月 31日	大学教授など学識経験者が委員に 加わることで、学問的に裏付けられ た知識を取り入れることができ、会 議の円滑な進行に貢献している。	特になし	首都大学東京	
70	医療保険部 地域医療政策課	戸吹湯ったり 館新春初笑い 寄席	医療・福 祉・健康	その他	指定管理者が大学にボランティアを依 頼し、落語で楽しいひと時と終わった 後はお風呂で心も体も暖まってい たく事業。	8月16日 (土)	・学生たちに発表の場を提供でき、 異世代間の交流が図れた。 ・戸吹湯ったり館の集客に役立ち、 利用者は、笑により健康増進とな った。	特になし	拓殖大学	落語研究会

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
71	医療保険部 東浅川・南大沢保 健福祉センター	介護予防口 ポット製作の ための見学	医療・福 祉・健康	大学等の研究 事業に市が協 力	高専の5か年プロジェクトである事業 で、学生が介護予防の現場を見学す ることで、高齢者の運動能力の実態、 体力維持のためのプログラム内容を 知り、サービスメカトロ(ロボット)の 実用化推進と実践的エンジニアの育成 に役立てる。	1年	介護予防の現場で役立つ技術・ソ フトの研究開発の一助となること で、学生の高齢者についての理解 を深め、現場職員にも外部の刺激 を得ることができる。	特になし	東京工業高等専門学校	「社会実装イン ターン」プロジェク ト
72	医療保険部 南大沢保健福祉セ ンター	和楽器演奏 会、落語会	医療・福 祉・健康	市が大学等に ボランティアを 依頼	学生サークルによる和楽器のコン サート及び落語会	9/7、3/18 8/14	学生達に発表の場を提供でき、異 世代間の交流が図れている。	特になし	首都大学東京 中央大学	三曲会 落語研究会
73	医療保険部 東浅川・大横・南大 沢保健福祉セン ター	老年看護学実 習	医療・福 祉・健康	その他	成人・高齢者事業に参加し、高齢者等 への理解を深める。 3日間の実習。	7/15～18、 7/22～25、 7/29～8/1	単位取得に必須な実習。 高齢者等が健康づくり、生きがいづ くり而努力している姿と看護職の役 割を学んだ。	特になし	八王子市立看護専門学校	看護学科
74	医療保険部 東浅川・大横・南大 沢保健福祉セン ター 健康部 健康対策課、保健 対策課	公衆衛生看護 学実習	医療・福 祉・健康	その他	地域看護学実習の一環としての公衆 衛生看護学実習。3保健福祉セン ターと保健所で実習を受け入れている。 保健所と保健福祉センター1週間ごと 計2週間の実習。	5/7及び 5/19～30、 6/2～13、 6/16～27、 7/14～25	単位取得に必須な実習。 行政の保健師活動の実際を学ん だ。	特になし	杏林大学	保健学部看護学 科
75	健康部 健康政策課	はちおうじ健 康づくり推進 協議会団体参 加	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	はちおうじ健康づくり推進協議会に団 体として参加し、市民への健康づくり 啓発活動への協力をおこなう。	平成15年 11月～	協議会でおこなう啓発活動を通し て、市内各大学に在学する学生の 健康づくりに役立て、市民として自 分の健康は自分で守る意識向上へ つなげる。	特になし	八王子学生委員会	
76	健康部 健康政策課	第2期 保健 医療計画協議 会	医療・福 祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	第2期保健医療計画の進行管理を学 識者委員として参加し、専門的な見地 から意見をいただく。	2年	学識経験者としての専門的知識、 豊富な経験・実績、指導力などに よって、事業目的が達成される。	特になし	東京家政大学	
77	健康部 健康政策課	健康フェスタ	医療・福 祉・健康	市が大学等に ボランティアを 依頼	5月19日に開催した健康フェスタにお いて、会場内の警備及び駐車場警 備、イベント従事を依頼。	1年	イベントに学生が従事することで、 若い世代への声掛けや啓発活動 がスムーズにできた	特になし	東京工科大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
78	健康部 保健対策課 (保健所)	エイズ普及啓発 ピアエデュケーション 養成および普及啓発活動	医療・福祉・健康	その他	同世代の仲間同士(ピア)がエイズについて(偏見のない社会づくり、感染拡大防止)考える「ピアエデュケーション」を行う学生を養成し、同年代の若者に対して、普及啓発活動を行う	通年	保健所とピアが共同で啓発を行うことで、知識の普及だけでなく、若い世代と一緒に学び考える場をつくることができた。	ピアの活動を実施する上で、時間調整や人員の確保が必要	杏林大学	北島研究会
79	子ども家庭部 子どものしあわせ課	八王子市子ども・子育て支援審議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	地方自治法に基づく市長の附属機関として、本市における子ども・子育て支援に係る施策に関する事項について調査審議する。	2年 (任期)	子ども・子育てに関する専門的な知識を審議の中で活用することができる。	特になし	日本大学 東京純心女子大学	
80	子ども家庭部 保育幼稚園課	たにぞうファミリーコンサート	芸術・文化	市が大学等にボランティアを依頼	多摩・島しょ子ども体験塾日野市・八王子市共同事業におけるファミリーコンサート	1日	大学生にボランティア活動の場を提供することで、社会人の基礎能力を養うことができる。	特になし	東京工科大学	
81	子ども家庭部 保育幼稚園課	保育実習	その他	その他	保育実習生の受入れ	各大学からの依頼を受け決定する	次世代を担う保育士を養成するとともに、実習生への指導を通じ保育内容を見直す機会となり、保育の質の向上を図ることができる。	特になし	こども教育宝仙大学、東洋大学、杏林大学、共立女子大学、駒沢女子短期大学、埼玉学園大学、桜美林大学、実践女子大学、淑徳短期大学、上智社会福祉専門学校、聖学院大学、聖徳大学幼児教育専門学校、鶴川女子短期大学、貞静学園短期大学、帝京短期大学、東京家政学院大学、東京家政大学、東京成徳大学、東京福祉大学、東京未来大学、日本児童教育専門学校、白梅学園大学、八王子市立看護専門学校、武蔵野短期大学、目白大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
82	子ども家庭部 児童青少年課	中高生企画事業 「児童館・こどもシティ」	まちづくり	市の事業に大学等が協力	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。その特徴はこどもたちが、運営・準備・企画をおこなう点にあります。	10月から 3月	美術、福祉など大学の特性を生かした体験事業を実施し、子どもにとって貴重な体験の場になっている。大学生と子どもの交流の機会になっている。	特になし	明星大学 東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 創価大学 帝京大学 中央大学 十文字学園女子大学 帝京科学大学 首都大学東京	明星大学ボランティアサークル「メルシー」 創価大学児童文化研究会 帝京大学児童文化研究会ステップ 中央大学社会福祉サークル青い鳥 中央大学じゃりん子の会 明星大学どろんこの会 帝京大学どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会
83	子ども家庭部 児童青少年課	児童館まつり	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。	9月～10月	大学サークル活動の場、また大学生と子どもの交流のみでなく青少対・小中学校PTAをはじめ地域交流が図られた。	特になし	明星大学 東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 創価大学 帝京大学 中央大学 十文字学園女子大学 帝京科学大学 工学院大学 首都大学東京	明星大学ボランティアサークル「メルシー」 創価大学児童文化研究会 帝京大学児童文化研究会ステップ 中央大学社会福祉サークル青い鳥 中央大学じゃりん子の会 明星大学どろんこの会 帝京大学どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会
84	子ども家庭部 児童青少年課	児童館施設実習の受け入れ	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	大学の保育実習の機会として市へ依頼し、実習の場を児童館が提供。	10～12月	受け入れをきっかけに児童館まつりの大学生の協力が推進できた。	特になし	東京家政学院大学 帝京平成大学・帝京科学大学 東京福祉大学 東京YMCA社会体育・保育専門学校 町田福祉保育専門学校・島根県立短期大学	
85	子ども家庭部 児童青少年課	児童館アドベンチャーラリー	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	児童館内・館庭にチェックポイントを設け、各ポイントで大学生の用意したゲーム等にチャレンジをしながら、全ポイントのクリアを目指す。	5月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	法政大学	ボランティアサークル「ニコスマ」

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
86	子ども家庭部 児童青少年課	大学生会議	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	各大学サークルに児童館の年間活動計画を説明し、児童館で行ってみたい活動について調整する。	4月 9月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	帝京大学 明星大学 中央大学 首都大学東京	帝京大学どろんこの会 明星大学どんぐりの会 中央大学じゃりんこの会 首都大学東京児童文化研究会
87	子ども家庭部 児童青少年課	スポーツ活動	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	市民センター体育館等を使用し、子どもたちがスポーツができる環境を提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	帝京大学	
88	子ども家庭部 児童青少年課	人形劇	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	大学生が創作した人形劇を子どもたちに披露する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	首都大学東京	首都大学東京児童文化研究会
89	子ども家庭部 児童青少年課	あそび活動	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	子どもたちに様々な集団遊びを提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	特になし	帝京大学 工学院大学 十文字学園女子大学 明星大学 中央大学 首都大学東京	帝京大学児童文化研究会 帝京大学どんぐりの会 明星大学どろんこの会 中央大学じゃりんこの会 首都大学東京児童文化研究会
90	子ども家庭部 児童青少年課 (館ヶ丘児童館)	中高生講座 「ゆかたで行こう！八王子まつり」	その他	市の事業に大学等が協力	中高生むけのゆかた着付け講座。学生が講師として参加する。八王子まつり当日に体験することで、伝統文化とともに、地域行事に親しむ。	1日	学生が講師として参加することにより、中高生に対して進路や職業についての意識啓発を、より効果的に行うことができる。	特になし	山野美容芸術短期大学	
91	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会に委員として参加している。	2年	有識者としての意見と、会長として委員の皆さんの意見をまとめている。	特になし	法政大学	現代福祉学部教授
92	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	看護学校授業	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	子ども育成計画・子ども家庭支援センターの目的と役割を理解し支援の必要性について学ぶ	年間 (随時)	子ども家庭支援センターの役割を知ると共に母子保健の観点から地域における子育て支援を考える場とする	特になし	市立八王子看護学校	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果 (100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
93	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	講師派遣	医療・福祉・健康	検討会委員、 講師派遣等に 協力	児童虐待防止啓発のために子ども家庭支援センターの役割を講義する。	1日	虐待事例を通して子ども家庭支援センターや各関係機関の連携を学んで実情を認識してもらい虐待防止に役立てる。	特になし	帝京大学	
94	産業振興部 産業政策課	大学と企業の 交流会	産業振興	その他	大学キャリアセンター職員と市内企業が交流することで顔の見える就活スタイルを実現していく。	年2回	交流会をきっかけに市内企業と大学とのつながりが生まれた。	特になし	拓殖大学、帝京大学、杏林大学、桜美林大学、首都大学東京、実践女子大学、和光大学、明星大学、多摩大学、玉川大学など	キャリアセンター
95	産業振興部 産業政策課	八王子古本まつり	産業振興	その他	八王子駅ユーロードで行う古本まつりのブースの手伝いを行う	年2回	学生には社会経験となった。企業側にとっては若年層の嗜好などの判断材料となった。	特になし	東京工科大学	学務課
96	産業振興部 産業政策課	中小企業魅力 発見バスツアー	産業振興	市の事業に大学等が協力	工場見学や社長・社員との交流から市内中小企業の魅力を発見し、理解を深めるためのバスツアーを実施	2月～3月	1、学生の募集 2、大学側の中小企業に対する認識を深める	特になし	大学コンソーシアム八王子	
97	産業振興部 産業政策課	webサイトはちおうじ就職ナビ	産業振興	市の事業に大学等が協力	はちおうじ就職ナビを、大学の企業説明会や面接会などで周知	10～3月	八王子市内の企業を学生に知ってもらえる機会を持つことができた。	特になし	大学コンソーシアムを通じて加盟23大学	キャリアセンターなど
98	産業振興部 企業支援課	「地域産業論」 (産学公連携講義)	教育	検討会委員、 講師派遣等に 協力	当該大学(高専)の授業に市職員を派遣し、八王子の産業について講義する。	9月	学生の地元八王子の産業への理解を深め、将来の市内企業への就職意欲を高める。	特になし	東京工業高等専門学校	
99	産業振興部 企業支援課	先端技術セミナー	産業振興	市の事業に大学等が協力	市内の中小企業を対象とした技術セミナーの講師	平成26年5月21日	中小企業に先端技術情報を紹介し、活用するためのきっかけとする。	特になし	東京工業高等専門学校 首都大学東京 東京工科大学 拓殖大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果 (100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
100	環境部 環境政策課	八王子環境 フェスティバル	環境	その他	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	実行委員会のメンバーに、大学生の立場として企画の段階から参画してもらうことにより、斬新で、新鮮な発想を取り入れることができる。また、大学相互の連携により、参加大学の広がりが期待できる。	学業が優先できるよう開催日時などに配慮し、又、学生の力が出し切れるような環境づくりが重要である。	中央大学 創価大学 東京造形大学 工学院大学 サレジオ工業高等専門学校	
101	環境部 環境政策課	環境審議会	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市長の諮問に応じ、環境に関する基本的事項について調査審議し、答申する。	任期 2年	学識経験者として専門的見地から意見をいただくことにより、市の環境行政を適正に推進することができる。	特になし	中央大学 明星大学 首都大学東京 東京工科大学	
102	環境部 環境政策課	インターンシ ップ生の受け入 れ	環境	その他	東京都公認の人材育成制度であるECO-TOPプログラムに認定を受けた大学から依頼を受け、環境行政に関心を持つ学生をインターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	特になし	首都大学東京	都市環境学部 自然・文化ツーリ ズムコース
103	環境部 環境政策課	環境に関する 授業の実施	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	学生が持続可能な社会を実現するためのデザインについて学ぶにあたり、社会の最新の動向を身に付けるため、自治体における環境活動をテーマに授業を実施	9月～1月	身近な地域の環境の現状と行政の取り組みの実態について知り、また事例に基づく課題の解決について考えることにより、社会において環境のために行動できる人材の育成に役立てる。	一定期間授業を行うため、講師となる職員にある程度の負担が発生する	東京造形大学	デザイン学科サス テナブルプロジェ クト専攻領域(山 際教授)
104	環境部 環境政策課	八王子市温暖 化防止セン ター運営委員 会	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子市温暖化防止センターを運営するにあたり、大学及び学生の立場から運営体制、事業等について協議する。	1年	市内の様々な主体が連携、協力して温暖化対策を推進する組織の運営にあたり、大学及び学生の立場からの意見・提案を反映することができる。	特になし	杏林大学 創価大学 中央大学 東京工科大学 日本文化大学	
105	環境部 環境政策課	地球温暖化対 策普及啓発イ ベント	環境	市が大学等に ボランティアを 依頼	地球温暖化防止について広く市民に関心を持ってもらうことを目的に、環境講演等の開催といった地球温暖化対策啓発イベントを実施する。	12月	市の環境行政に関心を持ってもらえるとともに、仕事を通じて学生の学業以外における人材育成の場を提供することができる。	特になし	帝京大学 東京工科大学	
106	環境部 環境政策課	八王子環境 フェスティバル	環境	市が大学等に ボランティアを 依頼	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	自分たちの出展以外にボランティアに参加してもらうことにより、全体のつながりや連帯感を持って一つのイベントを作り上げていく意識が生まれる。	特になし	中央大学(学生) 帝京大学(学生) 東京造形大学(学生)	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
107	環境部 環境政策課	工学院大学わくわくサイエンス祭 理科教室	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	「つくる ふれる 楽しむ」をテーマに、 小中高生に科学の楽しさを知ってもら う目的で開催されている理科教室にお いて、人力発電電車を出展することに より、環境にやさしいエネルギーとい う切り口から環境教育を実施する。	8月	環境教育を実施し、未来を担う子 どもたちに環境問題について考える 機会を提供することができる。	特になし	工学院大学	
108	環境部 環境政策課	インターンシ ップ生の受け入 れ	環境	その他	市・大学との間で覚書を取り交わし、 行政に関心を持つ学生をインターン シップ生として環境政策課、環境保全 課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもら う機会になるとともに、学生の意見を 直接聞く機会となった。	特になし	明星大学	
109	環境部 環境政策課	「ちえっくどう (中大・八王子 方式)」による 地域環境診断	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	環境診断士の指導のもと、各地区の 環境市民会議が市民を対象に環境指 標「ちえっくどう」を用い環境診断を 行い、その結果を中央大学の研究生が 集約し、分析結果を市の環境政策に 利用できるように成果物として環境政 策課及び環境診断士に提供する。	3年	環境指標「ちえっくどう」による診断 を行うことで地域の環境の現状を 再確認するとともに、他市における 診断結果との比較分析を行うこと ができる	特になし	中央大学	経済学部 田中研究室
110	環境部 環境保全課	斜面緑地保全 委員会委員	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	「市街地内丘陵地のみどりの保全に 関する条例」に基づき(1)保全区域の 指定に関する事(2)保全基準に関す ること(3)行為の届出の勧告に関す ること等重要事項について審議する。	2年	1. 専門的分野からの助言が得ら れる。 2. 現地調査等で、学生との協働が 可能になる。 3. 研究の成果を活用することも可 能になる。	特になし	創価大学 日本大学	
111	資源循環部 ごみ減量対策課	ごみゼロ社会 推進協議会委 員の依頼	環境	検討会委員、 講師派遣等に 協力	八王子学生委員会に「ごみゼロ社会 推進協議会」の委員を依頼	任期2年	一般廃棄物の減量及び再利用の 促進、またその適正な処理等の市 の施策に関し、協議会委員である 学生から意見を聴取することを目 的とする。	特になし	八王子学生委員会	
112	水循環部 水環境整備課 下水道課 環境部 環境保全課	流域レジリエ ンス(気候変 動に適應する 地域管理)	環境	大学等の研究 事業に市が協 力	気候変動に伴う季節、気象予測を数 値モデルを用いて計算する。 市街地の中心部を流下する浅川をモ デルとして、流域のレジリエンス向 上について研究を行う。	2年	河川工学、人間・社会基盤、下水、 気象、生物の研究者が協働するこ とにより、水環境行政に必要な予測 データ等が、多角的、総合的な見 地から提供される。また、市の50年 に及ぶ気象観測データを提供、分 析し、温暖化など気候変動の傾向 を掴むことが可能となる。	特になし	東京大学	地球観測データ統 融合連携研究機 構・水環境制御研 究センター・生産 技術研究所・大気 海洋研究所・農学 生命科学研究所・ 空間情報研究セ ンター
113	都市計画部 都市総務課	八王子医療刑 務所用地活用 検討専門家会 議	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	本市が八王子医療刑務所用地の活用 に向けた検討を進めるにあたり、検討 内容の妥当性や実現性等について、 多様な専門性の観点からの助言を得 る。	2年	専門領域からの中立的助言による 知見の提供。	特になし	・東京大学大学院工学系研究科都 市工学専攻都市デザイン研究室 ・多摩大学 経営情報学部 ・明星大学 理工学部 ・中央大学 商学部 ・日本女子大学 家政学部	・黒瀬武史助教 ・中庭光彦准教授 ・西浦定継教授 ・根本忠宣教授 ・葉袋奈美子准教 授

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
114	都市計画部 都市総務課	八王子市都市 計画審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	都市計画法に規定された審議会で、 市長の諮問に応じ都市計画に関する 事項を調査・審議する。	-	専門領域から審議への知見の提供	必要な専門分野から 適切な専門家を選任 するための情報収集 が難しい	工学院大学 首都大学東京	建築学部 まちづくり学科 村上准教授 都市環境学部 都市環境学科 建築都市コース 角田教授
115	都市計画部 土地利用計画課	八王子市都市 計画マスター プラン検討委 員会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	都市計画マスタープランの改定にあたり、 市の検討内容への助言。	3年	専門領域からの中立的助言による 知見の提供。	特になし	首都大学東京 理事 首都大学東京 大学院都市環境科学 研究科 建築学域 首都大学東京 大学院都市環境科学 研究科 都市基盤環境学域 工学院大学 建築学部 まちづくり学 科	上野淳名誉教授 吉川徹教授 小根山裕之教授 村上正浩准教授 篠沢健太准教授
116	都市計画部 都市計画課	都市復興マ ニュアルの策 定	防災	市の事業に大 学等が協力	震災からの都市の復興を円滑に進め るため、専門家の立場から技術的サ ポートを受け、震災復興模擬訓練を行 い、職員の能力向上を図る。	1年	1. 震災からの円滑な復興を進める ため、大学の専門知識を活用し、 職員の能力向上を図ることができる。 2. 大学にとっては行政側の経験等 に関する特技を収集でき、調査研 究に役立てることができる。	特になし	首都大学東京	都市環境科学 研究科 市古太郎准教授
117	都市計画部 交通企画課	(仮称)八王子 市交通マス タープラン検 討委員会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	交通マスタープランの改定にあたり、 市の検討内容への助言を得る。	2年	専門領域からの中立的助言による 知見の提供。	特になし	中央大学 理工学部 都市環境学科	鹿島茂教授
118	拠点整備部 中心市街地対策課	「八王子まち ナビ」店舗調 査	まちづくり	市が大学等に ボランティアを 依頼	「八王子まちナビ」のモニターを兼ね、 登録店舗に訪問し、店舗の特徴や魅 力等の調査をしてもらった。また、登録 店舗以外で気になる店舗をピックアップ してもらった。	11月	1. 学生が、中心市街地や「まちナ ビ」に関心を持つ機会となる。 2. 学生の視点を今後の「まちナビ」 の発展に活かすことができる。	特になし	東京工科大学	
119	まちなみ整備部 住宅政策課	八王子市営住 宅管理審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	市営住宅の適正な管理運営を図る ため、市長の諮問に応じ、市営住宅の 管理計画及び管理に関する重要事項 について審議する。	任期 2年	専門的な意見をいただくことが可 能である。	とくになし。	首都大学東京(～H27.8.15)	朝日ちさと准教授
120	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市まち づくり審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	地区まちづくり推進条例に規定された 審議会で、市長の諮問に応じ、同条例 に定めるまちづくりに関する事項を調 査・審議する。	2年	専門領域から審議への知見の提供	必要な専門分野から 適切な専門家を選任 するための情報収集 が難しい	工学院大学 首都大学東京	建築学部 野澤教授 都市環境科学研究 科 伊藤教授、饗庭准 教授

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
121	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市景観 審議会	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	本市景観条例に規定された審議会 で、市長の諮問に応じ、同条例に定め る良好な景観形成の推進に関する事 項を調査・審議する。	2年	1. 専門家に意見を求めることで、 議論の内容が深まる。 2. 専門家が会議のとりまとめを行 うことで、円滑な審議会の運営が行 われる。	特になし	工学院大学(建築学部) 東京農工大学 武蔵野美術大学 首都大学東京(都市環境学部) 多摩美術大学	倉田名誉教授 亀山名誉教授 吉田教授 川原准教授 田口教授
122	まちなみ整備部 公園課	八王子市都市 公園指定管理 者候補者選定 のための評価 会議	まちづくり	検討会委員、 講師派遣等に 協力	都市公園指定管理者候補者選定のため の評価会議により応募書類の審査 及びプレゼンテーションのうえ意見を 聴取する。	1年	専門的な意見をいただくことが可 能である。	特になし	首都大学東京 中央大学	都市教養学部都 市環境科学研究 科 文学部
123	道路交通部 交通事業課	小学生交通安 全絵画コン クール	教育	市の事業に大 学等が協力	小学校3年生が交通安全に関する絵 を描き、自らの交通安全意識を高め、 交通事故防止につなげることを目的と した絵画コンクール。優秀作品は秋の 交通安全運動のポスターに使用する。	12月～9 月	専門家により、事業の主旨に基づ いた公平で良い作品を選考するこ とができる。	特になし。	多摩美術大学	
124	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場 管理運営	まちづくり	市の事業に大 学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星 大学駅に313.69㎡の土地の無償提供 を受け(平成12年10月から)、自転車 駐車場として設置。(平成26年8月末 から一時閉鎖中)	4月～ 3月	平成24年10月の調査では、266 台の利用がある。	特になし。	中央大学	
125	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場 管理運営	まちづくり	市の事業に大 学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星 大学駅に257㎡の土地及び自転車駐 車場施設の無償提供を受け(平成16 年7月から)、一般に開放。	4月～ 3月	平成24年10月の調査では、109 台の利用がある。	特になし。	明星大学	
126	議会事務局 議事課	議会定例会開 催ポスター	その他	市の事業に大 学等が協力	定例会開催のポスターとピラを大学へ 送付し、掲示を依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもら い、積極的に参加を呼びかける。	特になし	地域23大学等	
127	学校教育部 学校教育政策課	教育に関する 事務の管理及 び執行の状況 の点検及び評 価	教育	検討会委員、 講師派遣等に 協力	教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価を行うにあつ て、教育に関する学識経験を有する者 の知見の活用を図る。		専門分野における高度な知識に基 づいた意見を点検及び評価に活か すことができる。	特になし	帝京大学	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
128	学校教育部指導課	中学校水泳大会	教育	市の事業に大学等が協力	中学校体育連盟が主催する市内中学生の水泳大会	H26.8.25	市内に大会が行える施設(50Mプール)がなく、大学に依頼した場合は無料で借りることができる。	特になし	東京工科大学	
129	学校教育部指導課	パワーアップ研修	教育	市の事業に大学等が協力	教員の資質の向上を図るための市独自の教員研修として、指導課・施策推進委員会・資料作成委員会・学校・小中教研等が講座を企画・運営し、それぞれの課題に応じた研修を開設し、158講座を実施した。	平成26年度は7月22日～8月28日	大学から講師を招聘し、専門的で高度な研修を受けることができる。また、小・中教員の大学等に対する理解を深めることができる。	特になし	明星大学、國學院大學、玉川大学、創価大学、横浜国立大学、国士舘大学、法政大学、東京学芸大学、武蔵野短期大学、東京女子体育大学、早稲田大学、創価大学教職大学院、埼玉大学、信州大学、鎌倉女子大学、工学院大学、白梅学園大学、川崎医療福祉大学、東京福祉大学大学院、東京理科大学、東京福社大学大学院、東京理科大学、淑徳大学、東京理科大学、法政大学大学院、東京農工大学、山梨大学、慶応大学、聖徳大学、帝京大学、常葉大学、目白大学、恵泉女子学園大学、上智大学、実践女子大学、明治大学、法政大学、昭和大学、十文字学園女子大学、跡見学園女子大学、秀明大学、都留文科大学、星槎大学	
130	学校教育部指導課	学校インターンシップ	教育	市の事業に大学等が協力	市内及び近隣の大学と教育委員会とで協定を結び、市立小・中学校に週1日程度、学生を実習生として派遣している。派遣期間は、前期・後期・年間に分かれている。なお、臨床心理士を目指す大学院生も、この事業に組み込まれ、市立小・中学校に派遣されている。平成26年度は、約310名の学生・院生を受け入れている。	通年	教職を目指す学生に実習の場を提供するとともに、学校の授業や行事の補助的な指導に携わることで、児童・生徒の個に応じた指導が充実した。また、学校側では若い外部人材が入ることにより教職員もよい刺激を受けている。	学生の希望等により、各学校の受入れ数に差が生じる。交通費は学生の自己負担となっている。	創価大学、東京工科大学、多摩美術大学、帝京大学、明星大学、東京純心女子大学、法政大学、中央大学、都留文科大学、東京学芸大学、杏林大学、日本教育大学院大学、法政大学、玉川大学、実践女子大学、亜細亜大学	
131	学校教育部指導課	学術・文化・産業ネットワーク多摩	教育	その他	ネットワーク多摩に登録している大学から市立小・中学校に学生を派遣し、教育活動を通じて社会体験を深めてもらうボランティア活動。24年度は約40名の学生を受け入れた。	通年	学校教育に興味をもつ学生の就業体験の場として活用されるとともに、学校側では若い人材を得て教育活動を充実させることができる。	学生への謝金の上限が5000円であるため、場合によっては学生自身の交通費等の負担が大きい。	中央大学、東京工科大学、明星大学、帝京大学、創価大学、大妻女子大学	
132	学校教育部指導課	小学校科学教育センター	教育	市の事業に大学等が協力	土曜日及び夏季休業中に、希望する小学校6年生を対象として、科学の実験や観察、見学、ホームページ製作、自由研究などを行っている。平成26年1月に、「八王子市教育委員会と東京工業高等専門学校との間における教育・研究に関する連携協定」を締結している。	7月9日	児童に科学に対する興味・関心を高めることができる。大学等に対する理解を深めることができる。	居住地により、児童にとっては大学等までの行き来に時間がかかり、安全面の心配がある。	帝京大学 東京工業高等専門学校	
133	学校教育部指導課	教員研修実務研究	教育	大学等の研究事業に市が協力	教職大学院生に、本市教育センターにおける教員研修の運営等に携わらせ、研修の企画・立案・運営等を学ばせる。また、指導主事が大学に Outreach、指導主事の役割等について、院生に対して講義を行っている。	6月12日	管理職や指導主事等、教員の指導的役割を担う職を目指す教職大学院生に教員研修の実務を学ばせ、資質の向上を図っている。	特になし	創価大学教職大学院	

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
134	学校教育部 指導課	学校臨床実習	教育	大学等の研究 事業に市が協 力	臨床心理士を目指す大学院生を小・ 中学校に派遣し、実習させている。大 学院が単位認定し、平成23年度に引 き続き、学校インターンシップ事業の 一部として実施している。	9月からお よそ半年 の間	小・中学校においては、教育相談 の活性化を図ることができ、児童・ 生徒の相談役等として児童・生徒 理解も進んでいる。	特になし	創価大学大学院	
135	生涯学習スポーツ 部 生涯学習政策課	「生涯学習 コーディネ ーター」入門講 座	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	市民に生涯学習の情報を提供し、支 援していく「生涯学習コーディネ ーター」を養成する全76回の講座を(社) 学術・文化・産業ネットワーク多摩の協 力で実施した。	H17.5~9 H18.6~9 H19.11~12 H20.9~11 H21.8~10 H22.6~7 H23.10~12 H24.5~7 H25.5~6 H26.5~6	受講生を広域募集できる。	特になし	(社)学術・文化・産業ネットワー ク多摩 (※拓殖大学の教授に講師を依頼)	
136	生涯学習スポーツ 部 生涯学習政策課	生涯学習フェ スティバル	生涯学習	その他	市と八王子市学習支援委員、八王子 生涯学習コーディネーター会の共催事 業で、市民の生涯学習活動へのきっ かけづくりと学習成果の発表、市民相 互の交流の場として開催した。	H17.10 H18.10 H19.10 H20.10 H21.10 H22.10 H23.10 H24.10 H25.10 H26.10	ポスターの作成や、舞台発表、雑 誌のリサイクル、記録写真の撮影、 スポーツレクリエーション、総合案 内等多岐にわたり主催者とともに 活躍していただき、事業を円滑に進 めることができる。	特になし	拓殖大学 中央大学 首都大学 創価大学 法政大学 多摩美術大学	
137	生涯学習 スポーツ部 生涯学習 政策課	学習支援委員	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	青少年活動の応援、国際交流や伝統 文化普及、家庭教育、サークル・団体 活動のサポートなどで市民の方々の 生涯学習を積極的に支援してもらう。	通年	専門的分野からの助言が得られ る。	特になし	東京工科大学	
138	生涯学習 スポーツ部 生涯学習 政策課	生涯学習審議 会	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	教育委員会からの諮問に応じ、生涯 学習の振興に関する計画の立案、施 策及び事業の評価等について調査・ 審議し答申を行う。	通年	専門分野からの意見・事例紹介が 得られる。	特になし	大妻女子大学 帝京大学 創価大学	
139	生涯学習スポーツ 部 スポーツ振興課	八王子市民水 泳大会	生涯学習	市の事業に大 学等が協力	教育委員会の主催事業で、八王子市 水泳連盟(主管)に事業委託をし、実 施している。50m屋内プールでの水 泳競技大会(種目は、自由形、平泳 ぎ、背泳、バタフライ)。(78字)	平成17年 ~	大学担当課の全面協力によりス ムーズな進行ができ、また、環境の 整った施設での大会のため、毎年 300名を超える参加があり、水泳を 楽しむ人の目標の大会になっている。	なし	法政大学	保健体育部 多摩体育課

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
140	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅駅伝競走大会	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成24年～	イベントの現場のみで感じられる緊張感、一体感を共有することができる他、異なる団体が1つの目的により連携する体験ができた。	特になし	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
141	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅駅伝競走大会	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成22年～	救護に伴う沿道巡回や救護所の運営を保健学部の学生に担当してもらい、安全な大会運営が行えた。	特になし	杏林大学	
142	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅駅伝競走大会	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成13年～	選手・役員を輸送するため大学のバスを提供してもらい、大会運営を円滑に行うことができた。	特になし	学校法人 片柳学園(東京工科大学 日本工学院八王子専門学校) 山野美容芸術短期大学 明星大学 創価大学	
143	生涯学習スポーツ部 学習支援課(生涯学習センター川口分館)	家庭教育講座	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	パイプオルガンに触れてみよう	H17.7.30 H17.8.2 H19.8.8 H20.8.8 H21.8.4 H22.8.6 H23.8.6 H24.8.4 H25.8.3 H26.8.2	普段触れる機会のない「パイプオルガン」を間近に見て、構造を知り演奏をしてみるという特別な体験を市民(小・中学生とその保護者)に提供できる。	特になし	東京純心女子大学	
144	生涯学習スポーツ部 こども科学館	親子化学実験教室	生涯学習	市の事業に大学等が協力	夏休みの講座のひとつとして、首都大学東京の学生の化学サークルのメンバーが講師となって、準備、実施等をおこない、親子ではずむスライムと瞬間冷却剤を作った。	平成21年8月27日	1. 講師役の学生たちは薬品等の扱いに慣れていないため、参加者は、安全に薬品を使い、身近な物を作る経験ができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わりのない年齢層(親子)を教えることにより、学んでいることの再確認ができたと考え。	薬品の購入についてなど、事前打ち合わせ等を密におこなう必要がある。	首都大学東京	化学サークル(TMU-SFC)
145	生涯学習スポーツ部 こども科学館	科学実験ショー	生涯学習	市の事業に大学等が協力	実験教室への申込者に対して、草木染めとスライム作りの教室を開催。オリエンテーションホールで、来館者に対して、液体窒素を使った科学実験ショーを開催。	平成21年8月10日・11日	1. 講師役の学生たちは他にも講座を行って慣れていないため、参加者は、安全に薬品を使って講座に参加することができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わりのない年齢層(親子)を教えることにより、学んでいることの再確認ができたと考え。	事前打ち合わせ等を密におこなう必要がある。	工学院大学	理科教育センター

調査票A-②：既存連携事業<継続中>

平成27年1月現在

事業No	所管部課名	事業名	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字以内で)	連携する上での問題点	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
146	生涯学習スポーツ部 こども科学館	博物館実習生の受入	その他	大学等の研究事業に市が協力	学芸員実習生を受入、5日間の実務をする	平成18年8月24～28日	特になし	特になし	中央大学 東京工科大学 東京造形大学 成蹊大学 東京工業高等専門学校	
147	生涯学習スポーツ部 こども科学館	八王子「宇宙の学校」	生涯学習	市の事業に大学等が協力	年4回開催する子ども科学教室と家庭学習を組み合わせ、より探究心の強い子ども達の育成を図る。	平成24年10月21日・11月11日・12月15日・平成25年1月27日	学生が講師の補助役として、普段関わりのない年齢層(親子)を指導する機会を提供できた。	特になし	東京工科大学 拓殖大学	
148	図書館部 中央図書館	紹介状発行による市民の大学図書館利用	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市図書館が紹介状を発行することで、市民が大学図書館で閲覧・複写等のサービスを受けることができる。	通年	八王子市民が直接利用ができない大学図書館を八王子市の図書館を通すことによって個人で利用ができる。	特になし	市内各大学など	
149	選挙管理委員会事務局	選挙時における投・開票事務への学生アルバイトの導入	その他	市の事業に大学等が協力	各投票所での受付業務及び開票作業への従事	選挙時	若年層への選挙啓発及び選挙事務に従事する市職員数の減	採用決定後のキャンセル及び当日の欠席	工学院大学、明星大学、帝京大学、東京造形大学、東京工科大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、共立女子大学、首都大学東京、東京純心女子大学、山野美容芸術短期大学、東京家政学院大学	
150	選挙管理委員会事務局	選挙時における啓発活動	その他	市の事業に大学等が協力	学校構内の選挙公報備え置きの協力	選挙時	若年層への選挙啓発	特になし	創価大学	